



ごあいさつ

皆さま方には、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、当金庫の業務内容や活動状況につきましてご理解を深めていただくため、「半田信用金庫2026ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

令和7年度の国内経済の動向につきましては、緩やかな回復基調が続いており、政府の経済対策の効果もあって更なる成長が期待されています。一方、中東諸国やウクライナ情勢など地政学的なリスクや米国の関税政策・貿易問題の動向など、世界的な政治・経済情勢は極めて不確実性が高い状況にあり、わが国経済に対する影響も大きいものと考えております。

また、金融面では、日本銀行が2025年12月に金利政策を約30年ぶりとなる0.75%の水準に引き上げ、今後も日本銀行は経済・物価情勢に応じ、段階的に政策金利を引き上げる意向であり、少なからず、金融市場や国内景気に影響を与えるものと思われます。

さて、令和7年度は、中期経営計画「はんしん3か年計画 ～地域とともに新たな時代へ～」の2年目にあたり、「地域に必要とされる金融機関」であるために、「お客様第一主義」の徹底と、「持続的な収益力向上」の強化を目指し、基本戦略と定めた「収益力の強化」、「顧客基盤の強化」、「組織・人材力の強化」に基づく様々な施策を実践いたしました。

その結果、当金庫の業績につきましては、本業部分の業績を表す業務純益は9億69百万円となり前期比大幅に増加し、経常利益は10億83百万円、当期純利益は7億84百万円を計上することができました。

これからも当金庫の持つ独自性、特性を生かした取り組みを通じて、地域社会において必要とされる金融機関であり続けることを目指して職員一同、一層の努力を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和8年7月

理事長 古田 明典